

学校図書館司書クドバス事例(学生作成)			
テーマ	図書館を居場所にするために必要な学校図書館司書の能力		
働いている場所環境など	学校図書館（公立中学高校）	職場のコンセプト	親しみやすい学校図書館
職場での立場と役割	学校図書館の運営	職場の課題	多忙な中、利用者層を拡大する
その人物の主な実務	選書・配架・貸出・読書相談・イベント・学校教諭との連携	その人物の基本的考え方	誰もが親しめる図書館にする
その人物の優れている仕事ぶり	図書館が居場所として感じられるように、高校生の気持ちに寄り添いながら運営する	その人物の抱えている課題	図書館利用者が限られていて、もっと親しみやすい図書館にしなければいけない

仕事	能 力													
1	1－1	A	1－2	A	1－3	A	1－4	A	1－5	B	1－6	B	1－7	B
図書室を整備する	清掃を行うことで汚れを無くし、資料が汚れにくい環境を整備することができる		利用者が資料を探しやすく配置がわかりやすい配架ができる		利用者からの批判的な意見を受け止め、直ちに対応・改善を行える体制を整えておくことができる		資料に関わる小さな問題は利用者が主体的に検索できるように、インターネット環境や蔵書検索機能を整備することができる		メールやチャットアプリからも利用者からの相談・問い合わせを受け付け、利用者ニーズを集めやすくすることができる		人目が気になる利用者に配慮し、一人用の席や死角に隠れた席を配置することができる		利用者が主体的に図書館を綺麗に利用できるよう、職員が見守れる環境が整備できる	
2	2－1	A	2－2	A	2－3	A								
貸出を行う	どのような利用者にも利便性がよい資料貸出システム(簡単・迅速)を構築・提供することができる		蔵書リクエストや貸出・閲覧予約を行い、利用者が求める資料に触れられる環境を提供できる		資料の貸出期間の延長、返却方法の多様化(ポストの設置)など利用者の求めに応じた貸出サービスが提供できる									
3	3－1	A	3－2	A	3－3	A	3－4	A	3－5	A	3－6	A	3－7	A
相談に乗る	生徒と顔見知りになることができる		ヤングアダルトサービスの意義を理解し、それに基づいた相手の主体性を尊重した読書相談が行える		生徒の悩みや不安を具体的な課題として把握し、認識させることができる		認識させた課題を相談によって主体的に解決へと導くことができる		生徒の話をよく聞き、話の内容を繰り返して確認することで信頼関係を築くことができる		相手の話に共感を示し、相手を理解することで安心感を与えることができる		課題解決のために、課題によっては教員やカウンセラー等の助けを借りるよう助言することができる	
	3－8	B	3－9	B	3－10	B	3－11	B	3－12	B				
	相手の話に賛意を示したり肯定したりして、安心して話せる雰囲気をつくることができる。		生徒の悩みを共感的理解を示しながら聞き入れることができる		質問を通じて相手の話を傾聴し、問題解決の筋道を導き出すことができる		相槌や頷きによって相手への共感を表し、それを通じて相手からの信頼を築くことができる		生徒からの相談内容を担任や部活動の顧問などと共有し、早期解決に向けた支援ができる					
4	4－1	A	4－2	A	4－3	A	4－4	B						
選書する	CD や DVD などのマルチメディア資料を設置・選書することができる		中高生の利用者ニーズを理解し、それに基づいた選書ができる		トレンドや利用者ニーズに対応した興味を沸かせる選書ができる		ヤングアダルトサービスとして中高生の読書を通じて主体性の成長を促す選書ができる							
5	5－1	A	5－2	A	5－3	A	5－4	B						
イベントを開催する	参加者が読書や配架資料、図書館に興味を持てるイベントを企画することができる		イベント中にトラブル(揉め事など)が発生しても対処できるよう、職員内で事前に対策を立てておくことができる		イベントを企画・開催し、図書館の新規利用者を増やしたり利用者の来館頻度を向上させたりすることができる		ビブリオバトルや図書紹介カード作りなど、利用者が主体的に関われるイベントを開催できる							